

令和2年度病院年報発刊にあたって

院長 丸 木 親

この巻頭言を書いている9月下旬に、新型コロナ感染症はやや収束にむかっている。まだまだ気を抜けないが、辛抱強く長い間対応に追われた全職員に、心から感謝を申し上げたい。新型コロナ感染症の中等症2までの患者を、8-1病棟をつぶし、15人まで受け入れて来た。呼吸器内科、地域総合診療科を中心にコロナ対応を行って頂き、通常診療も可能な限り行うという方針であった。第5波ではさすがに満床となり入院を断らざるを得ない状況も発生した。県からの補助金で何とか令和2年度は純利益を計上することが出来たが、通常の医療を維持していこうとはしていたものの、時に8-1病床以外の病床稼働率が50%を割るのではという救急患者の減少、受診抑制があり、補助金を得ても純損失に転落してしまうのではと、令和3年度は危惧している。

新型コロナ感染症対応において、当院にて重症患者に対応が出来なかったことは地域の中核病院院長としては非常に残念で、これはHCUがなく、やはり普段からそのようなスタッフを養成してこなかった事が悔やまれた。地域の基幹病院として標準医療を提供できないことは、越谷市のような中核市では、近隣に大きな大学病院分院があるからと言っても許されない事と思う。HCUやロボットsurgery、新生児に対応できるSCU設備などは、採算性を度外視して導入して行かないと、時代に取り残された病院となり、優秀なスタッフが研修をしたい、就職をしたいという魅力のある病院ではなくなってしまい、ひいては市民の信頼も失うこととなる。

このようなコロナ禍に余裕があるのかと言われるかも知れないが、普段から若干の余裕のある病床数で、国や県、さらには市からの援助があったからこそ今回のパンデミックに対応することが出来た事は間違いない。これらの課題を新病院建設まで持ち越している余裕はない。最近受けた当院の経営分析では、軽症の外来患者が多すぎて、もう少し入院医療、救急応需に力を注ぐべきとの勧告を受けた。すぐにも地域医療支援病院となれるようにさらに紹介患者、救急患者を積極的に受け入れ、逆紹介を推進したい。これは働き方改革にも通じると思われる。公立病院は本来、地域の災害、不採算部門の医療などにも対応できるよう、多少の余裕を持って運営すべきものと思わされる今回の出来事であった。

病 院 の 理 念

私たちは地域の健康を守るため最良の医療を志向し、愛され信頼される医療を行なうにあたり、次のことを実践します。

－ smile , safety , satisfaction －

○私たちは病院の使命を自覚し、患者様のニーズに応える医療を提供します。

○私たちは医療の向上に努め、生命の尊厳を重視し安全な医療を提供します。

○私たちは患者様の視点に立ち、患者様が満足できる医療を提供します。

平成14年4月1日制定

基 本 方 針

- 1) 救急医療を充実させ、地域住民の求める医療に積極的に応えます。
- 2) 医療連携を積極的に推進し、地域に根ざした医療を展開します。
- 3) 安全な医療を旨とし、医療の質・患者サービスの向上を図ります。
- 4) 確かな技術で、高度な医療を展開します。
- 5) 職員は使命感と誇りを持ち、夢と感動ある医療を実践します。
- 6) 安定した経営基盤を確立し、限りある医療資源を有効に活用します。
- 7) 「患者の権利と責務」を遵守し、患者様との信頼関係に結ばれた医療の提供を目指します。

平成19年4月1日制定

平成30年4月1日改定

目 次

第1章 概 要

(1) 病院の概要	1
(2) 病院の沿革	3
(3) 届出に関する事項	13
(4) 配置図等	15
(5) 病院機構図	17
(6) 施設の概要	19
(7) 主要医療機器等一覧	21

第2章 令和2年度業務

第1節 管理業務

(1) 職員に関すること	24
(2) 財務に関すること	26
(3) 業務の委託	34
(4) 光熱水費の状況	35

第2節 病院業務

(1) 患者数調べ	36
(2) 診療報酬に関すること	41
(3) 院内死亡数及び解剖数	42
(4) 臨床検査科業務	43
(5) 薬剤科業務	46
(6) 栄養科業務	50
(7) 放射線科業務	52
(8) 内視鏡室業務	58
(9) 中央手術室業務	59
(10) リハビリテーション科業務	60
(11) 臨床工学科業務	63
(12) 人間ドック集計	64
(13) 看護部業務	66
(14) 緩和ケア業務	70

第3章 研究業務

(1) 学会等における研究発表及び講演	71
(2) 著書及び論文発表	86

(3) 研究発表

1) 内 科	双極性障害の治療中に発症した不明熱の一例	89
2) 消化器科	肺癌原発の転移性食道癌の一例	90
3) 小 児 科	Kommerell 憩室を合併した血管輪	94
4) 整形外科	膝周囲骨切り術の適応と限界	97
5) 産科・婦人科	当院で経験した母児間輸血症候群 (fetomaternal hemorrhage : FMH) 3 例の検討	106
6) 眼 科	アームド緑内障バルブ挿入後に発症した悪性緑内障の 1 例	112
7) 臨床検査科	当院における日当直輸血検査研修実施について	114
8) 薬 剤 科	高度腎機能障害を合併した末期心不全患者にオキシコドン注の 持続静注が有用であった 2 例	118
9) 5 - 2 病棟	オキサリプラチンの末梢神経障害によるセルフケア調査	121

(4) 令和 2 年度ガス・メス納め集会より

1) 麻 酔 科	麻酔科・中央手術室手術統計	125
2) 循 環 器 科	循環器科年次報告	127
3) 外 科	外科手術統計	128
4) 整形外科	整形外科手術統計	129
5) 脳神経外科	脳神経外科手術統計	131
6) 泌 尿 器 科	泌尿器科手術統計	132
7) 産科・婦人科	産科・婦人科手術・分娩統計	133
8) 眼 科	眼科手術統計	137
9) 耳鼻咽喉科	耳鼻咽喉科手術統計	138
10) 小 児 科	小児科入院統計	139
11) 臨床検査科・病理診断科	病理・細胞診・解剖統計	140

案内図		142
-----	--	-----